

性犯罪・性暴力被害者等の支援

- 性暴力被害は潜在化しやすいため、相談しやすい体制を構築するとともに、被害者の「からだ」と「心」のケアができるよう支援体制の充実を図られたい。

【提案・要望先】内閣府

1. 提案・要望内容

(1) 「性犯罪・性暴力被害者支援のための交付金」の継続と必要額の確保

- “性暴力被害者のためのワンストップ支援センター” の継続的かつ安定的な運営のため、財政支援制度の継続および必要額の確保

(2) 性暴力被害の相談対応を行う「夜間等支援センター」の設置

- 夜間等における相談に適切かつ効率的に対応する「夜間等支援センター」の設置

2. 提案・要望の理由

(1) 「性犯罪・性暴力被害者支援のための交付金」の継続と必要額の確保

- 「性暴力被害者総合ケアワンストップびわ湖」(通称 SATOCO^{サトコ}) は、医療機関、民間支援団体、警察が連携して 24 時間ホットライン体制で被害者を支援する取組
- 相談対応を行う専門研修を受けた看護師(セイン^{セイ}) や相談員の体制の充実が必要であることから、交付金の継続および必要額の確保が必要

(2) 性暴力被害の相談対応を行う夜間等支援センターの設置

- 医療機関の看護師が 24 時間体制で相談業務を行っているが、過去の被害に対する相談など緊急の医療的ケアが必要ない相談が深夜にもあり看護師の負担が大きい
- 夜間の多様な相談に適切かつ効率的に対応するため、医療的ケアの必要性を判断し、適切な対応ができる「夜間支援センター」の設置が必要

(本県の取組状況と課題)

(1) 性暴力被害者総合ケアワンストップびわ湖 SATOCO (サトコ) (平成 26 年 4 月～)

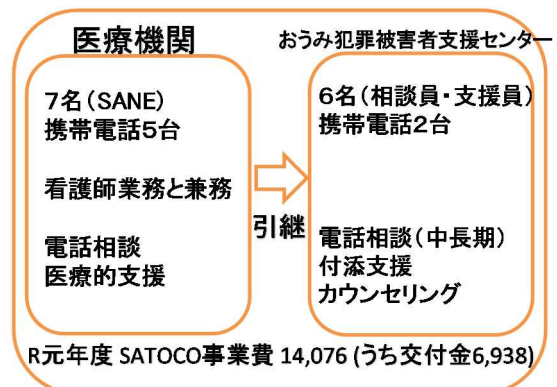
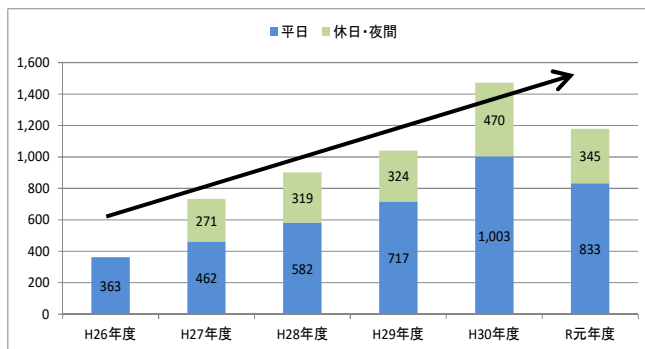
○滋賀県産科婦人科医会・公益社団法人おうみ犯罪被害者支援センター・滋賀県警察・滋賀県の4者連携による性暴力被害者のためのワンストップ支援の取組

○365日24時間ホットライン

病院で女性の専門看護師 (SANE) が対応



(現状) SATOCO 相談支援実績



(課題) ・心のケアなど回復期における相談は長い期間を要し、継続的な支援が必要
・相談や付添い支援が増加し、相談員の体制充実が必要

(2) 性暴力被害の相談対応を行う夜間等支援センターの設置

(課題) ・24時間常時電話を携帯している専門看護師 (SANE) の精神的負担が大きい
・医療機関は休日夜間の対応が多い (医療機関への相談の50%以上が休日夜間) ため、休日夜間業務における専門看護師 (SANE) の負担軽減が必要